

基本情報



【年 齢】
30歳
【出身地】
岡山県岡山市
【転出元】
岡山県玉野市
【前 職】
介護職員
【活動時期】
R4.9～R7.8

協力隊に応募したきっかけ

私は以前から「緑豊かな土地で家を建てたい」という夢があり、工務店の方と一緒に土地を探して歩いた結果、高梁市に辿り着きました。そして高梁市の高齢化率が高いことを知り、介護現場のために何か力になりたいと思いました。もともと介護職で介護DXに関心があり、介護の現場をもっと働きやすいものになりたいという想いも強くあったので、自分の中のミッションと地域の課題がリンクした瞬間だと感じました。介護DXを通してより良い未来を作るためには、官民が一体となって進めていくことが必要です。私は、そうした官民の橋渡し役になりたいと思い、協力隊に応募することを決めました。

今後の抱負・任期後の目標

現在行っている介護DX推進活動をさらに進めたいと考えています。具体的には、高梁市で行政と一緒に実践してきた取り組みを他の自治体でも実施できるよう、展開していきたいと考えています。高梁市の介護業界が直面する人材不足や職員の高齢化などの課題を変革のチャンスと捉え、課題解決を通じて、中山間地域のモデルとなるように取り組んでいきます。そして、そのモデルが協力隊という形で全国へ普及すれば、高梁市と近い課題を持つ自治体の介護現場の課題解決の糸口になると思います。協力隊制度による全国展開は、日本が抱える課題に対し、大きな可能性を秘めていると思います。これからも高梁市との縁を大切に、未来のために、自分が今できることを全力で取り組んでいきます。

活動内容

●高梁市内の介護事業所への個別のICT支援

介護記録ソフトの運用やLIFEの設定方法、PCの基本的な操作など介護事業所へ直接訪問し、問題解決を行います。自分の知識だけでは解決できない場合はベンダーへ問い合わせを行い、解決まで関わります。



●行政との政策立案

自治体で取り組む介護現場の生産性向上・業務効率化に向けた政策の立案を行政とともに検討します。他市の事例や先進的な取り組みを行っている自治体の情報などを助言させていただき、高梁市ではどのように取り組むことができるかを検討します。



●行政・介護事業所同士のネットワーク構築

高梁市内の介護事業所の連携強化と介護分野における地域一体型組織構築の為、6ヶ月に1回「高梁市介護事業者情報交換会」を実施。介護現場の課題を地域の課題として捉え、行政と共有することで市として本当に必要なことを検討します。現在はチャットツールでも繋がっており、各事業所の業務効率化の取り組みや加算取得の取り組みなどフレキシブルに意見交換を行っています。



●自己研鑽

介護事業所へのサポート実施に欠かせない自己研鑽はNPO法人タダカヨが行う無料PCスクールを受講。現在は理事を務める。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】個人

メールアドレス：kazunyan.ak@gmail.com 電話番号：080-1928-1266

【活動の様子を発信しているSNS】

(Facebook)

<https://www.facebook.com/kazuya.miyazaki.dx>

